

平成25年度 第42回 高校生のための放送講座 グループ別練習 講師とテーマ(再改訂版)

* 全国大会出場者は加賀先生のグループ、関東大会出場者は板倉先生のグループに入ります。

* 原稿は原則2部(自分と講師の分)を持参してください。その他、各講座の講師の指示に従ってください。

* 各クラス5~6名の予定

講座番号	講師	テーマ	内容・用意するものなど	分類	レベル
1	宇野 智之 先生 (小金)	印象に残るアナウンス原稿	印象に残るアナウンス原稿とはどのようなものでしょう。こうすればいいという絶対的なものがあるわけではありませんが、気をつけなければいけないことはいくつもあります。用意して来た自分の原稿をより良いものにした後、実際に読んで聞き合ひましょう。未発表の原稿を用意してきてください。	アナウンス	初心者
2	中尾 龍平 先生 (東海大浦安)	アナウンス原稿を見直そう	こちらでアナウンス原稿の材料などを用意していきますが、自分のアナウンス原稿を見て欲しい人はコピーで構わないので出来るだけ事前に中尾まで提出してください。	アナウンス	初心者
3	米澤 正弘 先生 (渋谷幕張)	もう少しで県大会	「あと一步で県大会」で止まってしまう人のためのアナウンス講座です。もう一步を乗り越える練習をしましょう。用意するものは、アナウンス原稿(できれば2種類、無理なら1種類)2部ーうち講師用1部ーです。	アナウンス	経験者
4	石井 淳 先生 (検見川)	語りかけるアナウンス (お昼の放送編)	「読む」のではなく「語りかける」アナウンスを考えます。節(ふし)や波を排除して自然に話しかけるアナウンスについて学びましょう。今回はお昼の放送に焦点を当てます。各校のお昼の放送の原稿を持ち寄ってください。事前に原稿を届けていただくと助かります。これからお昼の放送を始めようという人も大歓迎です。	アナウンス	不問
5	和泉 洋一 先生 (成田)	アナウンス技術の考察と内容を伝える修行	アナウンスを担当している皆さんと、アナウンスに必要なチェンジオブペースやプロミネンスのかけ方について共に考え、その技術を応用したアナウンス内容を伝える方法を実践を交え練習したいと思います。準備するものは、高文連やNHK杯で使用する原稿、筆記用具です。テキストはこちらで準備します。	アナウンス	不問
6	藤原 俊一 先生 (昭和学院)	深い読みと朗読について	読解と鑑賞は違います。深い読解がより良い朗読につながり、伝える力となります。自分の読みたい原稿があれば、提出用のコピーも持ってきて下さい。未定の場合はこちらで用意した原稿を読むこととなります。筆記具も持参して下さい。	朗読	初心者
7	小林 加代子 先生 (千葉西)	地の文を読む	台詞が上手な人は年々増えていますが、地の文の読み方を研究したいと思います。基本的な発声・発音と合わせて皆で勉強しましょう。	朗読	初心者
8	大久保 京子 先生 (佐倉)	朗読術トレーニング	「読んで伝える」ための様々なトレーニングが中心です。呼吸法や体幹トレーニングを組み入れた発声・発音練習と、「朗読術」を身に着けるための意味句読みトレーニングを紹介します。	朗読	不問
9	樋坂 裕子 先生 (柏の葉)	文字で書かれている内容を伝えよう	審査をされていていつも感じるのは、アナウンスでも朗読でも、書かれてある文字を音声化しているだけで、ちっともその内容が伝わってこないことです。この大問題を克服したい人集まれー！ 61回大会の朗読課題かこれから読むであろう昼放の原稿をあらかじめ十分練習し、当日原稿を10部持参してください	混合	不問
10	香取 宏 先生 (県立船橋)	波を消す方法を覚えましょう。そしてアナウンス原稿作りのポイントも	①波を消す練習と自然な読みをつかむための方法 ②アナウンス原稿をどう書けばいいか、そのヒントをつかむ ※自分で書いた原稿を2部もってきてください	アナウンス	不問
11					
12	上記以外の先生	私の良いところ、練習すべきところはどこ？	私の良いところは？これからどんな練習をしていけばいいの？自分では気づかないところがあるかもしれません。みんなの耳で探しましょう。	混合	初心者